

心得 憶えしっかり。

試みる 握り拳にして手甲を上に向けた両手を手首のところをX形に交叉して、同時に両手の手甲を下向けにねじる。その時小首を少し傾しげる顔の表情。

快よい 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手をびったり胸につけ、上下にさすり上げ降しする。胸がせいせいした表情。「嬉れしい」「面白い」と同じ。

午前 「正午」の場合の二指を左へ傾ける  
乞食 右手で鈴を振り鳴らす真似をして、左手掌を上向け、物を乞う身振り。

故障 (1) 機械の故障。「機械」を表わす手をとめて、小首を傾しげて——「悪い」の手まね。(2) その他の故障。(1) 忙しい——むつかしい。(2) 用事——ある——むつかしい。

答え——右手の指頭を上斜め左にさした人差指と指頭を左にさした親指。左手の指頭を上

斜め右にさした人差指と指頭を右にさした親指。この両手の互いの人差指の指頭と、互いの親指の指頭をつけ合わして、△形をつくる。これは算数での問題の「+」「-」で示したことだから来たと思えばよい。

答える 答え——云う。

御馳走 うまい(美味)——いろいろ。

誇張 両手で螺貝を持つ手つきをして(螺貝の螺旋の輪郭を表わす心持ちに両手を動かす)口で吹く身振り。

滑稽 おかしい——おかしくて、腹が痛い(拳で脇腹を叩たく)

孤独 独り——淋しい。

如く 掌を左側にして指頭を前方にさした人差指と中指を上下に振る。

殊に 五指の指頭を集め合せた右手のその指頭で、左手の腕、下膊部に手首の辺りから上へ△形を描き降す。「特に」「特別」の手

まねと同じ。

言葉 「言う」と同じ手まね。

好む 指頭を上にした親指と人差指の間をV字形に開いて、顎を下から挟むようにしてから、下へ引き降すと同時に両指の指頭を合わせ閉じる。(掌は内側)

この手まねの位置が顎にあるので、食物の好みから出たものと思われる。即ち、「おいしくて肘がはずれる」程で「好む」「好き」となったものか。

拒む (イ) 首を振り、腕を曲げて肘を横へ張る(肘鉄砲の形)(ロ) 五指の指頭を上にして掌を前に向けた両手を左右に並らべて斜め前方に突き出す。受けつけないと云うこと  
五分五分 掌を内側に親指と人差指の指頭を下方にさした両手を左右に×形と交叉して両手の二指の指頭を合せ閉じる。「同じ」手まねと同じ要領。

胡麻化す 「狡猾」と同じ手まね。

米 右手人差指で歯をさし(「白」の手まね)、その人差指(指頭を左にさし)を左手の親指と人差指で輪にした上(他の四指は伸ばしたまま)最中にさしわたすように置く。

御指免なさい 「謝まる」と同じ手まねをすればよい。

御免御免(悪るかった悪るかった)五指の指頭を上にしたし掌を左側に向けた右手の親指を下口唇につけ、他の四指を波打たせる。「すまないことをした」「拙いことをした」の意味の「御免御免」である。

困る 誰れもがするように、頭を掻く身振  
恐い 「恐れる」「恐ろしい」と同じ手まね  
こわれる(こわす) 両手で一枚のせんべい  
か何にかを持って二つに裂き破る身振。

殺す 左手の、対象が男性なら親指、女性なら小指に、右手の人差指で突き刺す身振を